
昭和大学大学院の理念

昭和大学大学院は、医学研究科、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科を擁する医系総合大学院であり、先端的研究を進め、高度な医療を担う人材を育成し、生命科学の進歩と文化の発展に貢献するために設立された。

社会がめまぐるしく変化する中で、医療の高度化や価値観の多様化に伴い、人類の健康・福祉の維持向上のために、より深く包括的な生命真理の探究が求められている。

本大学院は医系総合大学院の特長を活かし、疾病の解明と克服を目的とした先端かつ独創的な研究を推進し、知の創造に向けて邁進する。さらに、優れた研究・教育・指導能力、高度の専門性、倫理観、温かな人間性を身につけ、高い知性と豊かな感性をもって未知の分野に挑戦する医療人を育成する。このような研究や教育を通じて、国際的視野に立つ、社会に開かれた大学院として、人類の幸福に寄与することを使命とする。

大学院歯学研究科カリキュラムポリシー

1. 生命科学の基盤の上に、歯学並びに関連諸分野に関する深い洞察力と専門的知識の習得に加えて、課題探求能力を備えた研究者並びに高度な知識と技術を有する専門職業人養成のための教育を行う。
2. 歯学研究科の教育は、講義、演習、実習および学位論文の作成等に対する指導により行う。
3. 関心ある科目を幅広く学習し、主科目以外の学問領域への関心を広げ学際的視点を養えるよう、「口腔科学特論」ならびに「臨床特論」を開講する。
4. 自立して研究を行うために必要な研究手法および研究遂行能力を身につけるための実践的教育を「研究入門」により行う。
5. 国際的に活躍できる自立した研究者を養成するための英語教育を行う。
6. 国内外の学会・研究会等に参加し、幅広い視野を確立し成果を発信する能力を養う。

大学院歯学研究科ディプロマポリシー

「至誠一貫」の精神のもと、より高度な歯学研究や歯科医療に邁進し、国民の健康増進と福祉に寄与する優れた人材育成のためのカリキュラム（教育課程）を策定している。

修了までの達成目標を以下に列挙する。

1. 医療・健康・生命科学の中において歯学に関する深い学識と専門性、高度な思考・判断能力を有する。
 2. 多様な学術的連携・協調をもち、歯・口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力を有する。
 3. 円滑なコミュニケーションのもと、国際的視野に立ち、成果を社会へ情報発信できる。
 4. 生涯にわたり研鑽をし、社会との架け橋となる自覚を有する。
 5. 研究者として強い責任感と高い倫理観をもち、歯学・生命科学の発展に寄与する。
-